

介護職員初任者研修 修了評価の方法

1 出題形式・出題数

- ・ 出題形式 全て四肢択一形式
- ・ 出題数（配点）及び試験時間

介護における尊厳の保持・自立	3問×3点	(9点)
介護の基本	6問×3点	(18点)
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	6問×3点	(18点)
介護におけるコミュニケーション技術	2問×3点	(6点)
老化の理解	3問×3点	(9点)
認知症の理解	6問×3点	(18点)
障害の理解	4問×3点	(12点)
こころとからだのしくみと生活支援技術	3問×2点	(6点)
その他事例問題（2事例）	2問×2点	(4点)

☞合計 35 問

- ・ 配点 問1から問30まで（30問） …… 各3点
問31から問35まで（5問） …… 各2点
- ・ 満点 100点満点
- ・ 試験時間 60分

2 合否判定基準 70点以上を合格ラインとする。

- ・ 合否判定基準は、次のとおり、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分とし、C以上で合格基準を満たしたものと認定する。

※合否判定基準（100点を満点とする）

※A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満

3 合否判定で「不合格」となったときの取扱い

- ・ 正答率70%の合格基準を満たせなかった者については、理解が低いと思われる分野、得点状況の低い分野から優先的に見直しを行わせ類似する内容での再試験を実施する。各科目・分野の到達目標をクリアできるよう必要と思われる場合には補講を行うこともある。

再評価の基準は70点以上の得点者を合格とし、基準に達するまで再評価を行うようにする。